

私のカルテ



受診時には必ずお持ちください

お名前：

病院名：

©NARA pref

奈良県

奈良県乳がん連携パス (術後)

【目次】

★ 私の情報	1
★ 治療の記録	2
★ 乳がん地域連携クリティカルパスについて	4
★ 同意書	6
★ 日常生活で気をつけることは何でしょうか	8
★ こんな時は電話連絡を考えましょう	10
★ 乳がん術後治療計画表 (1 年目・2 年目)	12
★ 乳がん術後治療計画表 (3 年目・4 年目)	16
★ 乳がん術後治療計画表 (5 年目・6 年目)	20
★ 乳がん術後治療計画表 (7 年目・8 年目)	24
★ 乳がん術後治療計画表 (9 年目・10 年目)	28
★ 乳がん術後治療計画表 (10 年間)	32
★ あなたの緊急連絡先	34
★ 連携医療機関の一覧	35
★ 連絡メモ	36

私の情報

名前			
生年月日	西暦	年 月 日	血液型 型 Rh ()
住所			
電話			
緊急時 連絡先 (1)	連絡する人の名前 (本人との関係) 電話番号		
緊急時 連絡先 (2)	連絡する人の名前 (本人との関係) 電話番号		
かかった 病気	アレルギー ☐ なし ☐ あり () 心臓の病気 ☐ なし ☐ あり () 肝臓の病気 ☐ なし ☐ あり () 腎臓の病気 ☐ なし ☐ あり () 胃腸の病気 ☐ なし ☐ あり () 高血圧 ☐ なし ☐ あり () 糖尿病 ☐ なし ☐ あり () その他 ☐ なし ☐ あり ()		
かかっ て い る 医 療 者	かかりつけ医	_____ 医院	名前 _____ ☎ _____
	専門医師	_____ 病院	名前 _____ ☎ _____
	がん支援担当者	_____ 病院	名前 _____ ☎ _____
	訪問看護師	_____ ステーション	名前 _____ ☎ _____
	調剤薬局	_____ 薬局	名前 _____ ☎ _____
	その他	_____	

※あなたの大切な情報です。患者様ご本人がご記入ください

治療の記録

このページはあなたにとって大切な情報が書いてあります

【乳がんの治療に関して】

病 院 の 名 前	
病 院 の 住 所	〒
病院の電話番号	
担 当 医 の 名 前	

【手術内容】

手 術 日	年 月 日
乳 房 術 式	
リンパ節術式	

【病理診断】

T N M Stage			
病理学的リンパ節転移個数(個／ 個)			
組織型:		組織または核異型度	
ER:	PgR:	HER2:	Ki67:
浸潤径 cm		脈管浸潤	

【放射線治療】

--

【薬物療法経過】

抗 がん 剤	
分 子 標 的 薬	
ホルモン治療	

【現在の投薬】

--

【連携先の先生に関して】

連携先の名前	
先生の名前	
住 所	〒
電 話 番 号	

乳がん地域連携クリティカルパスについて

今、あなたは、乳がんと診断され、これからの治療や生活についていろいろ心配なこともおありでしょう。

私たちは少しでも患者さん、そして家族の皆さんに安心して安全に治療を受けて頂きたいと考えています。

そのための手段として、多くの病院では手術時に「診療計画書(クリティカルパス)」を活用しています。

「診療計画書(クリティカルパス)」とは、あらかじめその病気の経過を予想して、一番いい治療の計画を立てて、患者さん、家族に説明し納得していただいたうえで、医師・看護師・薬剤師・理学療法師・事務職員などの医療職員、そしてあなた自身＝患者さんが協力して診療にあたること(チーム医療)、その治療の計画を一覧表にしてチーム内で共有できる形にしたものです。

これまでは病院内だけで使用していたクリティカルパスですが、私たちはこれから、普段の通院治療の中でもこのクリティカルパスを活用していきたいと考えています。

多くの患者さんにとって、乳がんが初めて経験する大きな病気であるので、乳がん以外の病気についても当院で治療を受けたいと考えるのは当然です。

しかし、自宅近くのご近所に、私たちの乳がんの治療方法をよく理解し、ちょっとした日常のご病気(風邪やケガ、予防接種など)に対応してくれるお医者様がいらっしゃったらどうでしょうか？

つまり、私たちは乳がんの治療を中心に、地域の病院や診療所の先生方には乳がん以外の病気やケガを中心に診療をしてもらうことで、あなたに心強い主治医が2人出来るわけです。

奈良県内の「がん診療連携拠点病院」では、現在の乳がん治療において最良と思われる「地域連携診療計画書(地域連携クリティカルパス)」を作成しました。

この「地域連携診療計画書(地域連携クリティカルパス)」を活用することで地域の病院や診療所の先生方と同じ治療方針で、安心・安全に治療を提供したいと考えています。

【地域の病院や診療所の先生方(連携医)の役割】

- 日常の健康管理、生活習慣病(高血圧・糖尿病など)の治療
- 今ある症状が乳がんと関係あるかどうかの判断
(当院受診の必要性の判断)
- 風邪やケガ、予防接種などの通院、ちょっとした相談など

【私たち(がん診療連携拠点病院)の役割】

- 定期的な乳がんの診療(通常、半年～1年毎に診察に通院して頂きます)
- 専門的な検査・診察・手術(マンモグラフィや超音波検査など)
- 緊急を要する場合の対応(連携医の先生から紹介があった場合、診療がスムーズに行えます)

【患者さんの利益・権利・義務】

- 乳がんをよくわかっている主治医が2人出来ます。
- 途中で「地域連携診療計画書(地域連携クリティカルパス)」の利用を中止することもできます。
- 困ったことはなんでも相談してください。
- 手術後の定期的な通院は大切です。通院の自己中断はやめましょう。

地域連携計画書(地域連携クリティカルパス)に関する説明・同意書

平成 年 月 日 説明担当医師 _____

■「地域連携診療計画書(地域連携クリティカルパス)」について■

奈良県では、患者さんにわかりやすく安全で質の高い医療を目指して「診療計画書(クリティカルパス)」を活用しています。「診療計画書(クリティカルパス)」とは、その病気の経過を予測して、一番いい診療の計画を立て、患者さんに納得していただいたうえで医師・看護師・薬剤師等が協力して診療にあたり(チーム医療)、診療の方針について、患者さまと医療者が共同で利用できる形、に表わしたものです。

現在、私たちは、地域連携診療計画書(地域連携クリティカルパス)を用いて地域の病院や診療所と、同じ医療方針で安全で質の高い医療を提供したいと考えています。「地域連携クリティカルパス」では、患者さまを中心に、医師・看護師・薬剤師など関係するすべての医療者が、検査結果や診療の方針を知ったうえで、協力体制を作ります。

患者さまには「私のカルテ」(患者さま用の連携計画書)を利用させていただきます。

■「地域連携診療計画書(地域連携クリティカルパス)」の運用方法■

当院と、地域のかかりつけの医療機関と共同して、役割分担をしながら、診察、検査、治療を続けて参ります。具体的には、かかりつけ医が日々の診察や投薬などを担当し、当院が節目の診察や検査を行います。病状が急に変わった時や、なんらかの問題が生じた時に備え、かかりつけ医と密な連携をとって安心できる体制を作っています。

■「地域連携診療計画書(地域連携クリティカルパス)」の利点■

「地域連携診療計画書(地域連携クリティカルパス)」にもとづくことは、患者さまの主治医が複数になると考えることができます。異常の早期発見や、きめ細かな対応が可能になります。さらに地域連携診療計画書を利用することで、患者さまやご家族のお話を、もっと、お聞きできるようになるものと考えています。

■ 同意と撤回 ■

私たちは、地域連携診療計画書が患者さまの療養生活や診療の方針に合っているかどうかを吟味し、利用する方が良いと考えた場合にお勧めします。患者さまやご家族と十分ご相談しながら、運用をすすめます。途中で中止することもかまいません。以上についてご不明な点や心配があれば、いつでもご相談ください。

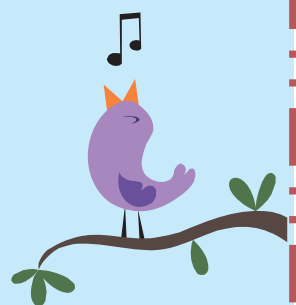
私は上記の説明を受けました。

私は地域連携診療を(希望します ・ 希望しません)

平成 年 月 日 患者氏名 _____

代理(続柄) _____

～メモ～



日常生活で気をつけることは何でしょうか？

●手術後のリハビリは順調ですか？

リハビリは筋力トレーニングではありません。

手術後に起こってくる「突っ張り感」を伸ばして、肩の運動を促すために行います。リラックスして、ヨガや太極拳といった「ストレッチ運動」をイメージして行いましょう。

●リンパ浮腫は起こっていませんか？

特に、腋窩郭清（脇の下のリンパ節を広く取る手術）を行った患者さんでは、100人中20～30人ぐらいの割合で腕がむくむ事があります。これを、リンパ浮腫といいます。ばい菌がむくんだ腕の中で繁殖してしまうと「蜂窩織炎」という、熱を持って赤くはれ上がった状態になってしまいます。もし、蜂窩織炎になった場合は早急に医療機関を受診してください。

また、蜂窩織炎にならないように日常生活の注意点を意識しましょう。

●ホルモン治療は順調でしょうか？

○タモキシフェン（ノルバデックス、タスオミン、フェアストンなど）を飲まれている方

更年期障害のような症状（ほてり、冷や汗、いらいら感など）が起こる場合があります。軽い場合は治療を続行できますが、ひどい場合には医師に相談しましょう。

長期間飲み続けていると子宮内膜癌をおこす可能性があります。
(1,000人のうち5～6人といわれています。) 子宮内膜癌は早期に見つかれば治癒可能です。

半年～1年に1回の婦人科の定期検診をお勧めしています。自分でもおりものの増加や不正出血がないかチェックしましょう。

○アロマターゼ阻害剤（アリミデックス、アロマシン、フェマール）を飲まれている方

朝方に特に手の指の関節が動きにくくなる事があります。また、時に、腕や足の関節が痛むときがあります。

軽い場合は治療を続行できますが、ひどい場合には医師に相談しましょう。

●自己検診をしていますか？

手術した方の乳房と反対側の乳房を月に1回程度は鏡でじっくり観察し、また、手で触ってみましょう。傷の周りに赤みがないか、しこりや痛みがないか、脇の下に硬いものが触れないか、チェックしましょう。

気になる事があったら、次回診察時に必ず医師に伝えましょう

こんな時は電話連絡を考えましょう

◆手術した方の腕が赤くはれ上がってむくんでいる

特に、手術で腋窩郭清（わきの下のリンパ節を広く取る手術）を受けた患者さんでは100人に20～30人の割合で手術した方の腕がむくむ場合があります。その中でもばい菌がむくんだ腕の中で繁殖し、熱を持って赤く腫れあがった状態（これを「蜂窩織炎」といいます）になった場合には、発症して2、3日以内の抗生物質（化膿止め）の投与開始が必要です。

◆咳が続いて止まらない。呼吸が苦しい

放射線治療を受けた患者さんで、治療終了1年ぐらいの間は、まれに肺炎を起こす場合があります。レントゲン検査である程度わかりますので、1週間以内の医療機関受診を考えましょう。

また、乳がん肺転移・再発の症状としても咳が続くことがありますが、その場合は風邪などと違って1か月以上たっても症状が悪化していきます。症状が長引く場合には医療機関の受診を考えましょう。

◆背中が痛い。動いたときに体の節々が痛い

閉経後の患者さんではホルモン治療開始2～3か月ほどたってから特に朝方に手の指の関節が動きにくくなったり、腕や足の関節が痛くなることがあります。軽い場合は治療を続行します。ひどい場合には医療機関を受診しましょう。

また、乳がん骨転移・再発の症状としても背中などの骨が痛くなることがあります。その場合は関節ではない場所が、特に動いたときに痛みが強くなり、1か月以上たっても症状が悪化していきます。症状が強い場合には医療機関の受診を考えましょう。

◆抗がん剤で月経が止まって1年以上たつのに、不正出血があった

閉経前の患者さんで、タモキシフェン（ノルバデックス、タスオミン、フェアストンなど）を服用されている方では、内服を5年以上続けていると子宮内膜癌を発症することがあります。（1,000人のうち、5～6人）子宮内膜癌は早期発見で治癒可能です。内服している間は半年～1年に1回の婦人科の定期検診をお勧めします。また、内服中に不正出血があった場合には2週間以内に医療機関を受診するようにしましょう。

◆乳房に新しくしこりが出てきた

温存した乳房や手術した反対側の乳房に新しく乳がんが発症する場合があります。普段から1か月に1回は自分でも両方の乳房を触るようにして、3か月前と比べても明らかに大きくなってくるしこりがある場合などは医療機関の受診を考えましょう。

診療計画表

乳がん術後治療計画表(患者さん用 1年目)

診療内容							6ヶ月						1年
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
問診	痛み、発熱、腕のむくみ、乳房のしこりや違和感などがないか、確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	手術した側、および、反対側の乳房の診察、腕の上がり具合などを確認します。	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	○
検査	血液検査(貧血の有無、肝臓・腎臓の状態、腫瘍マーカーの確認など)						○						○
	胸部レントゲン(肺に異常な影がないか確認します)												○
	マンモグラフィ(手術側、および反対側の乳房を確認します)												○
	乳房超音波検査(エコー)(手術側、および反対側の乳房を確認します)												
	骨シンチ(骨に転移がないか確認します)												
	胸部CT(肺に異常がないか確認します)												
	腹部CT(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
投薬	腹部超音波検査(エコー)(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
	ホルモン治療薬など												

手術後5年目までは、原則として、半年毎に当院で診察・検査を行います。手術後5年目から10年目までは1年毎に当院で診察・検査を行います。

その間に連携先の施設で診察、検査、投薬があります。

患者さんによって、病気の性質、進行度に違いがあるので、検査内容は人によって異なります。

当院で、あなたにとって最適な検査方法、検査内容を決定します。

上記以外の検査(骨密度、子宮体癌検診など)が必要な患者さんもうらっしゃいます。

乳がん術後治療計画表(患者さん用 2年目)

診療内容							1年半						2年
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
問診	痛み、発熱、腕のむくみ、乳房のしこりや違和感などがないか、確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	手術した側、および、反対側の乳房の診察、腕の上がり具合などを確認します。	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	○
検査	血液検査(貧血の有無、肝臓・腎臓の状態、腫瘍マーカーの確認など)						○						○
	胸部レントゲン(肺に異常な影がないか確認します)												○
	マンモグラフィ(手術側、および反対側の乳房を確認します)												○
	乳房超音波検査(エコー)(手術側、および反対側の乳房を確認します)												
	骨シンチ(骨に転移がないか確認します)												
	胸部CT(肺に異常がないか確認します)												
	腹部CT(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
投薬	腹部超音波検査(エコー)(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
	ホルモン治療薬など												

手術後5年目までは、原則として、半年毎に当院で診察・検査を行います。手術後5年目から10年目までは1年毎に当院で診察・検査を行います。

その間に連携先の施設で診察、検査、投薬があります。

患者さんによって、病気の性質、進行度に違いがあるので、検査内容は人によって異なります。

当院で、あなたにとって最適な検査方法、検査内容を決定します。

上記以外の検査(骨密度、子宮体癌検診など)が必要な患者さんもうらっしゃいます。

検査貼付用紙

診療計画表

乳がん術後治療計画表(患者さん用 3年目)

診療内容							2年半						3年
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
問診	痛み、発熱、腕のむくみ、乳房のしこりや違和感などがないか、確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	手術した側、および、反対側の乳房の診察、腕の上がり具合などを確認します。	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	○
検査	血液検査(貧血の有無、肝臓・腎臓の状態、腫瘍マーカーの確認など)						○						○
	胸部レントゲン(肺に異常な影がないか確認します)												○
	マンモグラフィ(手術側、および反対側の乳房を確認します)												○
	乳房超音波検査(エコー)(手術側、および反対側の乳房を確認します)												
	骨シンチ(骨に転移がないか確認します)												
	胸部CT(肺に異常がないか確認します)												
	腹部CT(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
投薬	腹部超音波検査(エコー)(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
	ホルモン治療薬など												

手術後5年目までは、原則として、半年毎に当院で診察・検査を行います。手術後5年目から10年目までは1年毎に当院で診察・検査を行います。

その間に連携先の施設で診察、検査、投薬があります。

患者さんによって、病気の性質、進行度に違いがあるので、検査内容は人によって異なります。

当院で、あなたにとって最適な検査方法、検査内容を決定します。

上記以外の検査(骨密度、子宮体癌検診など)が必要な患者さんもうらっしゃいます。

乳がん術後治療計画表(患者さん用 4年目)

診療内容							3年半						4年
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
問診	痛み、発熱、腕のむくみ、乳房のしこりや違和感などがないか、確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	手術した側、および、反対側の乳房の診察、腕の上がり具合などを確認します。	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	○
検査	血液検査(貧血の有無、肝臓・腎臓の状態、腫瘍マーカーの確認など)						○						○
	胸部レントゲン(肺に異常な影がないか確認します)												○
	マンモグラフィ(手術側、および反対側の乳房を確認します)												○
	乳房超音波検査(エコー)(手術側、および反対側の乳房を確認します)												
	骨シンチ(骨に転移がないか確認します)												
	胸部CT(肺に異常がないか確認します)												
	腹部CT(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
投薬	腹部超音波検査(エコー)(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
	ホルモン治療薬など												

手術後5年目までは、原則として、半年毎に当院で診察・検査を行います。手術後5年目から10年目までは1年毎に当院で診察・検査を行います。

その間に連携先の施設で診察、検査、投薬があります。

患者さんによって、病気の性質、進行度に違いがあるので、検査内容は人によって異なります。

当院で、あなたにとって最適な検査方法、検査内容を決定します。

上記以外の検査(骨密度、子宮体癌検診など)が必要な患者さんもうらっしゃいます。

検査貼付用紙

診療計画表

乳がん術後治療計画表(患者さん用 5年目)

診療内容							4年半						5年
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
問診	痛み、発熱、腕のむくみ、乳房のしこりや違和感などがないか、確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	手術した側、および、反対側の乳房の診察、腕の上がり具合などを確認します。	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	○
検査	血液検査(貧血の有無、肝臓・腎臓の状態、腫瘍マーカーの確認など)						○						○
	胸部レントゲン(肺に異常な影がないか確認します)												○
	マンモグラフィ(手術側、および反対側の乳房を確認します)												○
	乳房超音波検査(エコー)(手術側、および反対側の乳房を確認します)												
	骨シンチ(骨に転移がないか確認します)												
	胸部CT(肺に異常がないか確認します)												
	腹部CT(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
投薬	腹部超音波検査(エコー)(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
	ホルモン治療薬など												

手術後5年目までは、原則として、半年毎に当院で診察・検査を行います。手術後5年目から10年目までは1年毎に当院で診察・検査を行います。

その間に連携先の施設で診察、検査、投薬があります。

患者さんによって、病気の性質、進行度に違いがあるので、検査内容は人によって異なります。

当院で、あなたにとって最適な検査方法、検査内容を決定します。

上記以外の検査(骨密度、子宮体癌検診など)が必要な患者さんもうらっしゃいます。

乳がん術後治療計画表(患者さん用 6年目)

診療内容							5年半						6年
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
問診	痛み、発熱、腕のむくみ、乳房のしこりや違和感などがないか、確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	手術した側、および、反対側の乳房の診察、腕の上がり具合などを確認します。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
検査	血液検査(貧血の有無、肝臓・腎臓の状態、腫瘍マーカーの確認など)												○
	胸部レントゲン(肺に異常な影がないか確認します)												○
	マンモグラフィ(手術側、および反対側の乳房を確認します)												○
	乳房超音波検査(エコー)(手術側、および反対側の乳房を確認します)												
	骨シンチ(骨に転移がないか確認します)												
	胸部CT(肺に異常がないか確認します)												
	腹部CT(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
投薬	腹部超音波検査(エコー)(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
	ホルモン治療薬など												

手術後5年目までは、原則として、半年毎に当院で診察・検査を行います。手術後5年目から10年目までは1年毎に当院で診察・検査を行います。

その間に連携先の施設で診察、検査、投薬があります。

患者さんによって、病気の性質、進行度に違いがあるので、検査内容は人によって異なります。

当院で、あなたにとって最適な検査方法、検査内容を決定します。

上記以外の検査(骨密度、子宮体癌検診など)が必要な患者さんもうらっしゃいます。

検査貼付

診療計画表

乳がん術後治療計画表(患者さん用 7年目)

診療内容							6年半						7年
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
問診	痛み、発熱、腕のむくみ、乳房のしこりや違和感などがないか、確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	手術した側、および、反対側の乳房の診察、腕の上がり具合などを確認します。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
検査	血液検査(貧血の有無、肝臓・腎臓の状態、腫瘍マーカーの確認など)												○
	胸部レントゲン(肺に異常な影がないか確認します)												○
	マンモグラフィ(手術側、および反対側の乳房を確認します)												○
	乳房超音波検査(エコー)(手術側、および反対側の乳房を確認します)												
	骨シンチ(骨に転移がないか確認します)												
	胸部CT(肺に異常がないか確認します)												
	腹部CT(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
	腹部超音波検査(エコー)(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
投薬	ホルモン治療薬など												

手術後5年目までは、原則として、半年毎に当院で診察・検査を行います。手術後5年目から10年目までは1年毎に当院で診察・検査を行います。

その間に連携先の施設で診察、検査、投薬があります。

患者さんによって、病気の性質、進行度に違いがあるので、検査内容は人によって異なります。

当院で、あなたにとって最適な検査方法、検査内容を決定します。

上記以外の検査(骨密度、子宮体癌検診など)が必要な患者さんもうらっしゃいます。

乳がん術後治療計画表(患者さん用 8年目)

診療内容							7年半						8年
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
問診	痛み、発熱、腕のむくみ、乳房のしこりや違和感などがないか、確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	手術した側、および、反対側の乳房の診察、腕の上がり具合などを確認します。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
検査	血液検査(貧血の有無、肝臓・腎臓の状態、腫瘍マーカーの確認など)												○
	胸部レントゲン(肺に異常な影がないか確認します)												○
	マンモグラフィ(手術側、および反対側の乳房を確認します)												○
	乳房超音波検査(エコー)(手術側、および反対側の乳房を確認します)												
	骨シンチ(骨に転移がないか確認します)												
	胸部CT(肺に異常がないか確認します)												
	腹部CT(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
投薬	腹部超音波検査(エコー)(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
	ホルモン治療薬など												

手術後5年目までは、原則として、半年毎に当院で診察・検査を行います。手術後5年目から10年目までは1年毎に当院で診察・検査を行います。

その間に連携先の施設で診察、検査、投薬があります。

患者さんによって、病気の性質、進行度に違いがあるので、検査内容は人によって異なります。

当院で、あなたにとって最適な検査方法、検査内容を決定します。

上記以外の検査(骨密度、子宮体癌検診など)が必要な患者さんもうらっしゃいます。

検査貼付

診療計画表

乳がん術後治療計画表(患者さん用 9年目)

診療内容							8年半						9年
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
問診	痛み、発熱、腕のむくみ、乳房のしこりや違和感などがないか、確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	手術した側、および、反対側の乳房の診察、腕の上がり具合などを確認します。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
検査	血液検査(貧血の有無、肝臓・腎臓の状態、腫瘍マーカーの確認など)												○
	胸部レントゲン(肺に異常な影がないか確認します)												○
	マンモグラフィ(手術側、および反対側の乳房を確認します)												○
	乳房超音波検査(エコー)(手術側、および反対側の乳房を確認します)												
	骨シンチ(骨に転移がないか確認します)												
	胸部CT(肺に異常がないか確認します)												
	腹部CT(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
	腹部超音波検査(エコー)(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
投薬	ホルモン治療薬など												

手術後5年目までは、原則として、半年毎に当院で診察・検査を行います。手術後5年目から10年目までは1年毎に当院で診察・検査を行います。

その間に連携先の施設で診察、検査、投薬があります。

患者さんによって、病気の性質、進行度に違いがあるので、検査内容は人によって異なります。

当院で、あなたにとって最適な検査方法、検査内容を決定します。

上記以外の検査(骨密度、子宮体癌検診など)が必要な患者さんもしらっしゃいます。

乳がん術後治療計画表(患者さん用 10年目)

診療内容							9年半						10年
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
問診	痛み、発熱、腕のむくみ、乳房のしこりや違和感などがないか、確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	手術した側、および、反対側の乳房の診察、腕の上がり具合などを確認します。	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
検査	血液検査(貧血の有無、肝臓・腎臓の状態、腫瘍マーカーの確認など)												○
	胸部レントゲン(肺に異常な影がないか確認します)												○
	マンモグラフィ(手術側、および反対側の乳房を確認します)												○
	乳房超音波検査(エコー)(手術側、および反対側の乳房を確認します)												
	骨シンチ(骨に転移がないか確認します)												
	胸部CT(肺に異常がないか確認します)												
	腹部CT(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
投薬	腹部超音波検査(エコー)(肝臓など腹部に異常がないか確認します)												
	ホルモン治療薬など												

手術後5年目までは、原則として、半年毎に当院で診察・検査を行います。手術後5年目から10年目までは1年毎に当院で診察・検査を行います。

その間に連携先の施設で診察、検査、投薬があります。

患者さんによって、病気の性質、進行度に違いがあるので、検査内容は人によって異なります。

当院で、あなたにとって最適な検査方法、検査内容を決定します。

上記以外の検査(骨密度、子宮体癌検診など)が必要な患者さんもうらっしゃいます。

検査貼付

診療計画表

乳がん術後治療計画表(患者さん用)

診療内容			6ヶ月		1年		1年半		2年		2年半		3年	
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
問診	痛み、発熱、腕のむくみ、乳房のしこりや違和感などがないか、確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	手術した側、および、反対側の乳房の診察、腕の上がり具合などを確認します。	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△
検査	血液検査(貧血の有無、肝臓・腎臓の状態、腫瘍マーカーの確認など)		○		○		○		○		○		○	
	胸部レントゲン(肺に異常な影がないか確認します)				○				○				○	
	マンモグラフィ(手術側、および反対側の乳房を確認します)				○				○				○	
	乳房超音波検査(エコー)(手術側、および反対側の乳房を確認します)													
	骨シンチ(骨に転移がないか確認します)													
	胸部CT(肺に異常がないか確認します)													
	腹部CT(肝臓など腹部に異常がないか確認します)													
	腹部超音波検査(エコー)(肝臓など腹部に異常がないか確認します)													
投薬	ホルモン治療薬など													

手術後5年目までは、原則として、半年毎に当院で診察・検査を行います。手術後5年目から10年目までは1年毎に当院で診察・検査を行います。

その間に連携先の施設で診察、検査、投薬があります。

患者さんによって、病気の性質、進行度に違いがあるので、検査内容は人によって異なります。

当院で、あなたにとって最適な検査方法、検査内容を決定します。

上記以外の検査(骨密度、子宮体癌検診など)が必要な患者さんもうらっしゃいます。

3年半		4年		4年半		5年		6年		7年		8年		9年		10年
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○
○		○		○		○		○		○		○		○		○
		○				○		○		○		○		○		○
		○				○		○		○		○		○		○

あなたの緊急連絡先

日常生活で、何か不安や異常を感じ、乳がんと関係あるのか心配になった時にはまずは電話連絡をするようにしましょう。

交通事故、命にかかわるような緊急事態（意識消失、呼吸停止など）の場合にはまず、救急車（電話：119）を呼ぶようにしましょう。乳がん治療中、治療後にかかわらず、救命処置が優先されますので、どんな医療機関に搬送されても支障ありません。

連携先：

住 所：

電 話：

連携先の診療時間外など、連絡が取れないときは
当院にご連絡ください。

	病院	科
住所：〒	-	
電話：	-	-
時間外には当院		科の当直医が対応い
たします。		

決定した連携医療機関の一覧

(病院、診療所、調剤薬局、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等)

紹介病院	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当医	
担当看護師	
担当薬剤師	
連携室担当者	
担当業務	連携パスに記載

連携病院	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当医	
担当看護師	
連携室担当者	
担当業務	連携パスに記載

訪問看護ステーション	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当者	
担当業務	

調剤薬局	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当者	
担当業務	

連携調整担当者	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎

連携医院	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当医	
担当業務	連携パスに記載

介護支援事業所等	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当者	
担当業務	

- ・何か不安や異常を感じたら、まず電話で相談してください。
- ・もし、夜間・休日に連絡がつかない時は、申し訳ありませんが、この私のカルテを持って救急病院を受診してください。

～メモ～



乳がん連携パス (術後)

編集 奈良県がん診療連携協議会
奈良乳がん地域連携パス作成ワーキングチーム
奈良県がん対策推進協議会

発行 奈良県医療政策部 保健予防課

奈良県奈良市登大路町30番地
TEL：0742-27-8928
FAX：0742-27-8262

2013年3月発行 初版
2014年3月発行 第2版

名前

かかりつけ医

電話

病院

外科 主治医

電話

(代表)